

11月～12月のりた

時 開催時間 対 参加対象
所 開催場所 申 参加方法
￥ 参加費 持 持ち物
定 定員(選定方法)

11/10 むらさき麦の料理教室

「むらさき麦の栄養と調理法～郷土料理とお菓子～」をテーマに煮味噌や串揚げ、お菓子を作つてみませんか？

時 10:00～13:00
所 むらさきかん調理室 ￥ 300円
定 20名(先着順) 対 小学5年生～
持 エプロン、三角巾
申 事前にむらさきかんへお申し込みください。

11/17 やはぎかん 石工団地探検ツアー

このツアーでは石の加工作業などを通して職人さんの仕事を体験するほか、個性的な石像やすべてが石でできた神社など、石工団地ならではの面白いスポットを見学します。
(※対象は小学生と保護者ですが、対象以外の方も歓迎です。)

時 9:00～12:00
所 8:50 JR西岡崎駅(集合)
￥ 500円 ※お土産付 定 20名(先着順)
申 事前にやはぎかんへお申し込みください。

11/17 秋の額田を歩き、郷土料理を味わおう！

全国屈指の規模である万足平(まんぞくだいら)の猪垣を見学した後、ぬかた体験村では、ゆず狩りをします。昼食は郷土料理を味わえます。

時 9:00～13:30 (昼食付)
所 宮崎小学校(集合・解散)
￥ 700円 定 30名(先着順)
申 事前にむらさきかんへお申し込みください。

お問合せ

なごみん 66-8251

12/1 やはぎ大楽 しめ縄飾りづくり体験

社会福祉法人せきれい彩(さい)から講師を招き、正月飾りを作ります。

時 10:00～12:00
所 やはぎかん防災活動室
￥ 700円 定 10名(先着順)
申 11/8～やはぎかんへお問い合わせください。

12/8 岡崎カメラがっこう トークライブ

カメラを片手に歩きながらまちの人と出会い、写真を通して人と繋がることで、まちの魅力を見出し、発信する力を身につけていく「岡崎カメラがっこう」が始まります。

時 14:00～16:00
所 wagamama house(市内八幡町2-30)
￥ 無料 定 50名程度
申 岡崎市観光課まで
<https://citypromotion.okazaki-kanko.jp/news/27>

12/14 なごみんカレッジ 門松づくり講座

NPO法人おかざきの自然環境を守る会のみなさんを講師に招き、間伐した竹で手作り門松を作ります。

時 14:00～16:00
所 なごみん 3階ホールA
￥ 500円 定 20名(先着順)
申 事前になごみんへお問い合わせください。

12/15 なごみんクリスマス ぶちコンサート

クリスマスソングの演奏やダンス、バザーなど小さいお子さんから楽しめるぶちコンサートを開催します。

時 13:00～15:00
所 なごみん2階 第3活動室
￥ 無料
申 直接なごみんへお越しください。

りぶらぶらり散歩

NEWS

11/10土 Aコース 図書館バック ヤードツアー

県内有数の蔵書数を誇る、岡崎市立中央図書館の裏側を解説します。膨大な数の本の保管方法や、書籍を仕分ける機械など、図書館の謎に迫ります。

時 15:00～15:30
所 りぶら2F市民活動センター前(集合)
￥ 無料 定 20名(先着順)

11/11日 Bコース りぶらの秘密 発見ツアー

建設設計に市民の声を反映させるために奔走したコーディネーターが、りぶらをご案内します。設計段階から関わっていた人しか知らない小ネタ満載のツアーです。

時 14:00～15:10
所 りぶら2F市民活動センター前(集合)
￥ 無料 定 20名(先着順)

11/17土 Cコース 岡崎城下伊賀川・乙川いまむかしツアー(前・後編)

【前編】

伊賀川・乙川が現在の形に至る経緯や、周辺の歴史スポットを川沿いを歩きながらご紹介。また、まちを見守ってきた岡崎最古の菅生神社でもお話を伺います。

時 15:00～16:40
所 りぶら2F市民活動センター前(集合)
￥ 無料 定 20名(先着順)

【後編】

『おとがわ！ンダーランド』未体験のあなたの入門編。「星空観望会」で秋の星空を眺めたり、殿橋テラスでドリンクを片手に話したり…、夜の乙川を満喫しませんか？

時 16:45～18:00
所 菅生神社境内(集合)
￥ 無料 定 20名(先着順)

※お申し込みは、市民活動センターまでご連絡ください。

まちのミカタ

Litaracy

ーりたらしいー

95

2018年11月



特集

岡崎初の本格的な市民参加事業 「りぶら」の10年とこれから

2018年11月1日、岡崎市図書館交流プラザ・りぶら(以下、りぶら)は開館10周年を迎えました。2004年から「ワークショップ」が開始され、その後2008年の開館に至るまで5年間に渡り「施設の基本設計(建物の基本的なレイアウト等)」「施設の実施設計(施設内の設備等)」「市民サポートクラブ(現・りぶらサポートクラブ)の設立」と、テーマを変えて継続実施されてきました。これらの話し合いや活動を通じて延べ1,000名超の市民の思いが集まり、りぶらは竣工しました。

この一連のワークショップ(以下、りぶらWS)をコーディネートしてきたのが、天野＆三矢(現・りたの事務局長と次長)です。りぶらWSは、岡崎市初のワークショップ手法を導入した本格的な市民参加事業でした。核となる年間6回の全体会議(市民も設計者も行政担当者も一堂に会す場)をはじめ、市民プロジェクト部会等も適宜設置されました。当時は康生地区内の空き店舗を借用してオープンスタジオ(りぶらWSの最新情報が得られる場所)も開設し、市民参加を促進しました。

お問合せ	よりなん	59-3600	むらさきかん	66-3066	市民活動センター	23-3114	
なごみん	66-8251	やはぎかん	33-3665	悠紀の里	57-5050	まち育て推進チーム	23-2888

まちのミカタ

Litaracy

発行・編集



〒444-0031 愛知県岡崎市梅園町3丁目6-6
TEL(0564)23-2888/FAX(0564)23-2898
<http://www.okazaki-lita.com/>
<https://www.facebook.com/okazaki.lita/>

2018.11 vol.95

発行・編集



会員宛へ郵送 等 ※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。
配布

岡崎市図書館交流プラザ・Libra／岡崎市内の地域交流センター
会員宛へ郵送 等 ※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。

配布協力

岡崎市役所各支所／岡崎市各市民センター／シビックセンター／FMおかざき／杉くんの駄菓子屋／angelshare／
コミュニティ・ユース・バンクmomo／cafeくらがり／
CAFE & TABIBOOKS隠れ家／長善館／松應寺

特集

市民の自由な活動が、りぶらの中でも外でも賑わうために

● 「りぶら」に込められた願い

「りぶら」の愛称も市民参加で決まりました。市民公募で集まった候補の中から選考委員会を経て5案に絞り込まれ、この5案が市民投票にかけられました。最も評価が高かったのが「りぶら」でした。「りぶら」を命名した市民の言葉でいうと「Liberty(自由)とLibrary(図書館)をかけあわせた造語。お日様が燐々と降り注ぐのびのびとした空間に広がる図書館で、人々が自由な発想で活発に活動をする場所」となることが期待されています。



▲りぶらを参考して整備された「みんなの森 ぎふメディアコスモス(2015-)」

【開館から10年。未解決の課題に挑む】

一見すると、りぶらは良いことばかりですが、開館から10年経っても未解決の課題があります。

岡崎市は、りぶらの整備にあたって2つの使命を掲げました。1つは「生涯学習の拠点施設」、もう1つは「中心市街地の再活性化拠点施設」です。前者は概ね及第点だとしても、後者は改善の余地があるでしょう。年間140万人超が岡崎市内外から押し寄せているものの、その市民の流れや活動が、りぶらの中で留まっています。

そこでいたは、りぶら内の市民活動センターの運営組織として、さらには中心市街地の再生事業「乙川リバーフロント地区まちづくり(中心市街地の回遊動線の一角にりぶらが位置づけられています)」をお手伝いする組織として、市民の自由な活動が、りぶらの中でも外でもにぎわうためのきっかけ・仕掛けづくりに取り組んでいます。その一例が「りぶらと遊ぼうプロジェクト(子育て世代のみなさんと一緒に、りぶら付近で遊ぶ方法を模索・検証)」です。こうした実験的な試みを積み重ねて、りぶらから伊賀川、岡崎城、さらには乙川へと人々のにぎわいを広げていこうと構想しています。

市民参加による公共施設の計画と運営

りぶらWSのような取り組みは「市民参加による公共施設の計画と運営」と呼ばれます。日本では、1980年代に東京を中心に実験的な試みが始まり、1990年代から徐々に広まっていきました。岡崎では、りたの前身である「岡崎CDC研究会」により90年代末に導入され、今では公共空間計画のスタンダードとなっています。



▲空き店舗を活用したオープンスタジオで中学生の声を聞く(2004)

●東海地方の都市再生拠点施設をリードした りぶら

りぶらは、開館から10年経った今も年間140万人を超える方々によって利用されているほか、市民サークルが市民目線で施設サービスの質向上を実現するなど、量・質ともに高い水準を誇っています。

国内、特に東海地方では、中心市街地への人の流れを変えるための都市再生拠点施設として、図書館を核とした文化複合施設(市民活動センター・国際交流センターを併設)を整備する例が増えています(大府、安城、岐阜、四日市など)。こうした潮流の先鞭をつけたのが、りぶらです。



9月～10月のりた

よりなん 8/3～9/24 生きがいづくり講座・前期



シルバー世代の方々に生きがいとなるものを発見してもらうための1日体験講座を開講。全24講座が実施され、歌声ひろば(みんなで歌をうたう)やヨガなどが好評でした。

まち育て推進チーム 8/20～10/22 (仮称)乙川人道橋名称公募



現在建設中の(仮称)乙川人道橋の「橋の名称」と籠田公園から(仮称)乙川人道橋までの「通りの愛称」を募集するとともに、期間中は完成イメージ図や動画、模型などを各地域交流センター等にて巡回展示しました。展示場では大人も子どもも、まちの将来のイメージ像に夢中になる姿が見られました。今後は市内中学生の協力により、集まった案の中から各募集5案ずつに絞り、12月に投票期間が始まります。まちの新たなシンボルの名称を決める投票です。ぜひ、ご参加ください。

むらさきかん 9/9 むらさきかんフェスタ



舞台発表をはじめ、空手、工作などの体験、手作り品の販売や展示などを通じて、市民活動団体(約45団体)と市民との交流を目的としたイベントを開催しました。

まち育て推進チーム 9/17 乙川リバーフロント QURUWAシンポジウム



康生通りの将来像を考えるために実行する11月の社会実験。道路や駐車場の活用方法や、それを実現するアイデアについてまちづくり団体と専門家が意見交換を行いました。

悠紀の里 10/2～21 みんなのむつみ展



六ツ美をテーマにした写真、絵手紙、陶芸などの作品を市民から募集し、地域の魅力を見つめ直すことを目的とした展示会を開催しました。

悠紀の里 10/7・21 ゆき収穫祭



悠紀斎田の稲刈り・脱穀に合わせて、焼き絵やバルーンアート、バランスボール体操などの体験を中心としたイベントを開催しました。

まち育て推進チーム 10/18 新しい籠田公園にかかるワークショップ



平成31年4月にリニューアルオープン予定の籠田公園。周辺地区住民の方々に集まつていただき、籠田公園の管理と活用について茶話会形式で語り合いました。1回目の今回は、公園に対する思いや公園への関わり方を話し合いました。「綺麗な公園として維持したい」「使い勝手の良さも大切」といった意見が出されました。かつて籠田公園の周辺5町で合同開催されていた盆踊りを復活させたいという意見には多く共感の声があがっていました。

なごみん 10/28 地域活動サミットin北部

北部地域で活動している団体のための活動発表と交流会を開催。参加した7団体が活動内容や団体運営の工夫点、今後の展望について共有し活動促進の機会となりました。

よりなん 10/28 よりなん感謝祭

活動団体の日頃の成果を発表するとともに、地域との交流を深めるイベントを開催。参加団体やボランティアと協力して、ステージ発表、活動体験、作品展示などを行いました。